

第4回 省エネ政策提案型パブリック・ディベートコンテスト（東北） 参加校募集について

東北パブリック・ディベートコンテスト実行委員会、経済産業省東北経済産業局は、東北6県の高等学校、中学校を対象に、第4回省エネ政策提案型パブリック・ディベートコンテスト（以下「第4回大会」という。）を、令和5年1月8日（日）にオンラインで開催します。

このたび、第4回大会の参加校を募集しますので、ご案内を申し上げます。
多くの皆様のご参加をお待ちしています！

省エネ政策提案型パブリック・ディベートコンテスト（東北）とは？

「省エネルギー」をテーマ（論題）に、社会の問題を解決するため、国や地方自治体等が採用すべき新しい政策を学生の立場から考え提案し、互いの政策の質を高め合うように議論を深める取組です。

令和元年度に第1回大会を開催し、今回で4回目となります。

過去の試合映像は、
東北経済産業局 WEB から！

東北経済産業局 省エネディベート

検索

第4回大会（予定）について

- 日時** 令和5年1月8日（日）9:15~16:00
- 会場** オンライン開催（「Cisco Webex Meetings」）
- 対象** 東北6県の高等学校、中学校（最大各8チームが参加）
- 試合** 高校生の部、中学生の部を設け、2チーム同士で試合（ディベート）を行い、トーナメント方式で優勝を目指します。
- 表彰** ①「政策提案型パブリック・ディベート・ルール（以下「ルール」という。）」に基づき、優勝、準優勝を決定します。
②「省エネ政策提案賞」を選考し、表彰します。（詳細はP.2）

第4回大会の参加校募集について

参加校の募集



- テーマ** 「ウクライナ情勢の影響でエネルギーの価格の上昇や供給不安が起こる中、経済活動や生活の質を落とさずにエネルギー消費量を減らせる新しい省エネ政策を提案してください。」（詳細はP.3）
- 応募期間** 令和4年8月22日（月）～10月21日（金）（必着）
参加申込書及び政策提案の着眼点を事務局に送付（メール又はFAX）
- 応募資格** 東北6県の高等学校、中学校
- 出場校決定** 11月14日（月）に発表予定



- 主催** : 東北パブリック・ディベートコンテスト実行委員会、経済産業省東北経済産業局
- 協力** : 特定非営利活動法人全国教室ディベート連盟東北支部
- 後援** : 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市の各教育委員会

第4回大会までの流れ

STEP

1 参加校募集から出場校決定まで

- (1) 「募集説明会」及び「第1回ミニ政策勉強会」の開催
「募集説明会」及び「第1回ミニ政策勉強会」を、9月18日(日)にオンラインで行います。
開催の様子は、東北経済産業局のWebサイト(詳細はP.4)で後日視聴可能です。大会への応募をお考えの方は、ぜひご覧ください。

対象 大会への応募を検討している学校の先生、引率者、生徒

申込先 info-debate@p2company.co.jp

過去大会のお申込み状況

- (2) 出場校決定
申込みが8チームをこえた場合は、「予備審査」で出場チームを決定します。
※申込みが8チーム以内の場合は、全てのチームが出場決定となります。
- | | 第1回 | 第2回 | 第3回 |
|------|------|-------|-------|
| 高等学校 | 8チーム | 17チーム | 10チーム |
| 中学校 | 6チーム | 8チーム | 9チーム |

予備審査

- 申込み時の「政策提案の着眼点」に基づく書類審査です。政策検討の着眼点を10段階で審査します。高校生、中学生ならではの斬新な視点や着眼点であること等を評価します。
- 審査結果は、各チームに通知します。また、出場が決定した場合、当日までに提案内容を改善、改良することは妨げません。

STEP

2 出場校決定から大会前日まで

- (1) 「組合せ抽選会」及び「第2回ミニ政策勉強会」の開催
トーナメントの「組合せ抽選会」及び「第2回ミニ政策勉強会」を、12月11日(日)にオンラインで行います。

対象 大会に参加する学校の先生、引率者、生徒

- (2) 接続テスト等

- オンラインに必要な機器(パソコン等)や通信環境(Wi-Fi等)は、原則、参加校にご準備いただきます。
- 上記(1)と併せて、12月11日(日)に、参加校別にアプリケーションの説明やオンライン接続のテストを実施します。当日参加できなかった学校については、後日個別に対応いたします。なお、使用するアプリケーションは、これまでの大会と同様に「Cisco Webex Meetings」を想定しています。

- (3) 政策提案の提出

大会3日前(1月5日(木))までに、提案予定の省エネ政策の概要をご提出いただく予定です。

- (4) その他

出場チームには、大会マニュアル、オンラインマニュアル等の必要書類を送付いたします。

STEP

3 大会当日(令和5年1月8日(日))

- 大会は、ルールに基づき実施します。
- 全出場チームは、第1試合、第2試合は必ず参加いただきます。
- 決勝戦は、全出場チームに観戦いただけます。
- 下記のとおり、省エネ政策提案賞を選考し、表彰します。

当日のスケジュール(予定)

時間	内容
9:15	受付開始
9:45	開会式
10:20	第1試合
11:35	昼食
12:30	第2試合
14:15	決勝戦
15:35	閉会式
16:00	終了



省エネ政策提案賞

次世代を担う中高生が、従来と異なる斬新な着眼点で提案した政策を表彰します。

本賞は、第1試合、第2試合の内容を踏まえ、審査で中学生の部、高校生の部から各1チームを選考します。

なお、選考の対象に決勝進出の2チームは含まない予定です。

ウクライナ情勢の影響でエネルギーの価格の上昇や供給不安が起こる中、経済活動や生活の質を落とさずにエネルギー消費量を減らせる新しい省エネ政策を提案してください。

1. 値上がりするエネルギー価格と増加していくエネルギー消費量

2022年2月にロシアがウクライナへ軍事侵攻を行ったことをきっかけに、石油、LNG、石炭などのエネルギーの原料価格が値上がりしています。一方で、世界のエネルギー消費量は依然として増加傾向にあり、石油換算で1965年の37億トンから年平均2.3%で増加し続け、2020年には133億トンに達しました。各国では、エネルギー確保のため、産油国への増産要請や備蓄の強化といった政策を展開しています。

2. 日本の状況と省エネルギー政策

日本は、エネルギー原料の産出に乏しく、エネルギー自給率は12.1%（2019年）と他の主要国と比べても低く、産油国など海外の影響を受けやすい国となっています。過去の例では、1970年代に起こったオイルショックです。この時、石油の供給が止まるのではないかとという恐れから、日本中が大混乱に陥りました。そして現在では、ウクライナ侵攻によるエネルギー問題に直面しています。

しかし、日本はオイルショックの経験から、貴重なエネルギーを大切に使うため、省エネに努めてきました。オイルショックをきっかけに制定された「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」（通称：省エネ法）では、工場等はエネルギー消費を年1%以上減らす省エネに取り組むことなどが定められています。他にも様々な省エネ政策や取り組みの結果、日本は経済成長しながらも、世界でトップクラスの省エネを達成してきました。さらに政府は、2030年度に温室効果ガスを46%（2013年度比）削減することとし、2050年には温室効果ガスの排出量と吸収量・除去量を差し引きゼロにする「カーボンニュートラル」実現を目標としています。これは容易なものではなく、更なる省エネが必要となります。

3. 経済活動や生活の質を落とさない省エネルギー政策とは

更なる省エネを進めようとしたときに「とにかくエネルギーを使わないようにしよう」とガマンするだけでは、経済活動や人の生活にもストレスがかかり、長続きできません。一方で、エネルギーの価格は上がっており、多くの企業や家庭で省エネが求められる状況でもあります。

そこで今回、「経済活動や生活の質を落とさずにエネルギー消費量を減らせる新しい省エネ政策」を募集します。これまでにない省エネのシステムやターゲット、これまでの政策の大胆なアレンジなど考えてみてください（政府が検討しているポイント制度を除く）。

そして背景となるデータを集めて、どれくらいのエネルギーを減らすことができるのか、ディベートしていきましょう。

事前学習・参考資料（以下 Web サイト等をご参照下さい）

1. 省エネ政策提案型パブリック・ディベートコンテスト関係サイト（東北経済産業局）

※各種資料は、東北経済産業局 Web サイトからダウンロードできます。

https://www.tohoku.meti.go.jp/s_shigen_ene/public_debate.html

2. 事前学習の参考サイト

(1) 日本のエネルギーについて			
①	日本のエネルギー 2021 (パンフレット)	資源エネルギー庁	https://www.enecho.meti.go.jp/about/pamphlet/energy2021/
②	エネルギーのいろいろな記事 (スペシャルコンテンツ)	資源エネルギー庁	https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteiky/ondankashoene/
③	最新のエネルギー白書	資源エネルギー庁	https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/
④	エネルギー基本計画について	資源エネルギー庁	https://www.enecho.meti.go.jp/category/others/basic_plan/
⑤	エネルギーの学習・情報	東北エネルギー懇談会	https://www.t-enecon.com/

(2) 省エネルギーについて			
①	省エネポータルサイト	資源エネルギー庁	https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/index.html
②	省エネ大国・ニッポン～省エネ政策はなぜ始まった？そして、今求められている取り組みとは？～	資源エネルギー庁	https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/tokushu/ondankashoene/shoenetakoku.html
③	時代にあわせて変わっていく「省エネ法」	資源エネルギー庁	https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/tokushu/ondankashoene/shoenehoukaisei.html
④	スマートライフおすすめ BOOK（エネルギーの基礎知識含む）	一財 家電製品協会	https://shouene-kaden2.net/recommend_book/
⑤	省エネ・節電お役立ち情報	電気事業連合会	https://www.fepc.or.jp/sp/powersaving/index.html

(3) その他の参考情報			
①	日本のエネルギー消費量等の統計データ	資源エネルギー庁 総合エネルギー統計	https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/
②	経済産業省 省エネルギー小委員会資料	資源エネルギー庁 省エネルギー・ 新エネルギー分科会	https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene_shinene/sho_energy/index.html

第4回大会における個人情報と肖像権の取扱い

本大会の参加申込書等を通じて取得した個人情報（氏名、学校名、学年、担当教科、引率者の連絡先）及び肖像権の取扱いに関しては、以下のとおりに対処させていただきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- (1) 大会運営に必要な各学校との連絡や、表彰状を作成する際に利用します
- (2) 大会プログラム冊子に掲載されます
- (3) 大会内での告知・アナウンス等により紹介されることがあります
- (4) 大会関連のWebサイト（ホームページ・印刷物等）に掲載されることがあります

2. 競技結果（記録）等の取り扱い

- (1) 主催者が設置する大会本部を通じて公開されます
- (2) 報道機関等で、新聞・雑誌又は関連Webサイト等で公開されることがあります

3. 競技風景の撮影・録画等の取り扱い

- (1) 報道機関等の各団体を通じて、競技風景の映像や写真が、中継・録画放映・インターネット配信、その他の媒体等で紹介されることがあります
- (2) 主催者が大会終了後に映像資料として編集し、DVDなどで関係者に配布することやWebサイト（ホームページ等）に掲載されることがあります
- (3) 主催者が認めた大会参加選手の関係者やオンライン会場の来場者が、競技の様態を撮影することがあります

4. 大会本部としての対応

- (1) 本人の承諾なく上記利用目的以外に、取得した個人情報を使用することはありません
- (2) 参加申込書の提出により、上記取扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます
もし、個人の映像および画像の利用をご承諾いただけない場合は、事務局までご連絡ください
- (3) 個人情報、肖像の掲載または公開に関するご質問は、下記のお問合せ先（事務局）までご連絡ください

問合せ先・申込先

事務局
(大会に関する
問合せ先及び申込先)

第4回省エネ政策提案型パブリック・ディベートコンテスト（東北）事務局
(株式会社ピーツーカンパニー) 担当：和田
TEL : 03-3473-7871 (土日祝を除く)
FAX : 03-3473-7870
MAIL : wada@p2company.co.jp

主催者
(本事業に関する
問合せ先)

東北パブリック・ディベートコンテスト実行委員会
経済産業省 東北経済産業局
資源エネルギー環境課 総合エネルギー広報室 担当：戸浪、阿部、佐々木
TEL : 022-221-4927 (土日祝を除く)
MAIL : bz1-tohoku-energy-koho@meti.go.jp